

④ポリオ根絶を歴史の1ページに(ロータリーの対外的最優先事項)

これまで122カ国、20億人以上の子供たちへのポリオ予防接種を支援してきました。わずか60円ほどのワクチンで、一人の子供を生涯ポリオから守ることができます。アフガニスタン・パキスタンで16名までになったにもかかわらず、今年100名前後に増えてしまいました。伝染病で根絶できたのは天然痘だけであるということを考えても難しいことだとは思いますが、あと少しで根絶できるところまで来ています。支援をよろしくをお願いします。

2.クラブは奉仕の母体・大きな課題は近隣クラブで協力しよう。

単一クラブでは対応できない各地区における奉仕ニーズは、複数クラブ合同で行うことにより実施可能とすることができます。また合同奉仕作業を行うことによりクラブ間の連帯を強めることができます。クラブ会員数20%以上のメンバーが参加することと、寄付行為でなく、実活動を伴う奉仕事業であるという条件で、地区から支援金が出ます。

3.地区セミナーと委員会、委員を積極的に活用しよう。

・地区委員をクラブの卓話にお招きくださいとのことです。  
(交通費は地区が負担)

・RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)の運用活用  
RLIはディスカッション形式の研修を通じて人材育成を図り、クラブとロータリーを活性化させる多地区との合同プログラムです。地区の長期戦略のひとつとして「人材育成を推し進めよう」というテーマで提案されたもので、日本では34地区中19地区がこの手法を取り入れて、既に人材育成を行っています。その内容は、ロータリーの正しい知識の習得と、それらの活用技術の習得という2本柱で構成されています。具体的にはディスカッションリーダー1人と7~8人のメンバーが1組となってロータリーの様々なテーマについてディスカッションしながら学びます。今年度から当地区でも本格的に始めます。

4.米山記念奨学事業への参加と支援を通じてクラブを活性化しよう。

米山記念奨学会は、外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体で、ロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援しています。将来、母国と日

本との架け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を支援することを目的としており、奨学生の採用数は年間868人で、奨学団体としては、事業規模・採用数とも国内では民間最大です。給付型奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

5.日本のロータリー100周年を祝い、次への一歩に向けてRIと連携しよう。

1920年10月に米山梅吉翁を初代会長として東京ロータリークラブが誕生して、今年で100年になります。100周年記念式典として、11月24日を予定しています。

6.IT活用の促進

・冊子で配布されていたガバナー月信が、今年度より地区HPにおいて電子配信されていますが、さらにより見やすくなるように工夫し、会員の意見を即座に反映できるようにします。

・My Rotaryへの会員全員の登録をお願いします。

7.米山梅吉記念館の利用と支援

米山記念奨学会とは全く別の法人であり、日本ロータリーの創始者 米山梅吉翁とロータリーの歴史を知る場です。2620地区が責任を持って支えていくものであります。記念館の利用とともに支援をお願いします。

